



月の養蜂だより

5月号

今月のひとこと

全滅した養蜂場、SNSで発信をしたところ、たくさんの養蜂家さんからメッセージをいただきました。そんな中で声をかけていただき、養蜂場は復活に向かっていきます。また同じことを招かないように、日々学び続けています。



蜂蜜のプチ知識



ミツバチの天敵と蜂蜜

蜂蜜の収穫量はほとんどがミツバチの数で決まります。ミツバチの数が多いほど、たくさんの美味しい蜂蜜が採れる。ミツバチの世界には「ヘギイタダニ」という小さなダニがいます。養蜂業界では全世界の天敵となっており、これが蜂群の崩壊を招きます。

ちょっとだけ環境の話

ミツバチのダニ対策はとても難しいです。このヘギイタダニにやられないこと。これが世界の作物を守り、たくさんの美味しい蜂蜜を採ることに繋がるのです。

養蜂家のひとりごと



今回の全滅を機に、養蜂への考え方が少し変わりました。毎年蜂蜜を届け続けるためには、たくさんの蜂群を維持する必要がある。ミツバチを増やし守るには、多くのお金と時間が必要です。その循環を守ることの大切さを改めて感じています。

今月のミツバチ：養蜂の話

今年は、改めて「ダニ対策の重要性」を痛感しています。しかも厄介なのが、気づいた時にはかなり増えていること。そしてその対策もうまくいくかどうかは経験によること。

だからこそ、普段からの観察や予防、そして経験がとても大切です。

採蜜群と増やす群

蜂蜜を採取する群は大きな群れのみ厳選されます。働き蜂の少ない群れでは蜂蜜を採取することはできません。飼育しているとうまくいく群うまくいかない群がどうしても出てきます。



今月の一枚



数ヶ月ぶりにこれだけのミツバチが飛び交う姿を見ることができました。養蜂場は復活に向かってます。



ここまで読んでくださり、ありがとうございます。ミツバチや蜂蜜、環境などについて、少しでも身近に感じてもらえたら嬉しいです。InstagramやTikTokにて365日で復活する養蜂家として発信もしています。